

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書
HUSA (Hiroshima University Study Abroad) Program Report

記入日/Date 2024 年 1 月 23 日(YYYY /MM/ DD)		
ふりがな 氏 名 / Name		学生番号/ Student ID
本学での所属学部・研究科 School/Graduate School at HU	総合科学部国際 共創学科	学部/研究科 2 年次(Year) School/Graduate School (留学開始時点(When Started))
派遣プログラム Name of Program	☒ HUSA ☐ USAC ☐ UMAP	
留学先大学 Host University	フィリピン大学ディリマン校 (国名/Country：フィリピン共和国)	
所属学部・学科等名 School/Graduate School at Host	留学生に所属学部はないですが、School of Science から授業をすべて取っていました。	
在籍身分 Status at Host University	Exchange student (ex. Exchange Student, Special Auditing Student)	
留学期間 Period of Program	2023 年 9 月 2 日 ~ 2024 年 1 月 20 日 (YYYY /MM/ DD) (YYYY /MM/ DD)	

1. 留学するまで / Preparation for the Program	
留学への志望動機・ 派遣先大学を希望した理由 Purpose of Study / Reason of Host Choice	・海洋学や環境科学を学びたく、それらの授業を開講しているため。 ・英語が日常的に通じる国であるため。 ・東南アジアに行ってみたかったため。
留学準備を始めた時期（応募する 何か月前ですか？） Commencement of Preparation for Application	3~4 か月前
事前準備について（どのような 準備をしたか、しておけばよか ったか） Preparation Completed Prior to Study Abroad	日常的に使うタガログ語を覚えていけばよかったと思っています。また、フィリピンの歴史や政治背景をもっと知っていたら、国の文化について理解が深まったのではないかと思います。

2. 渡航について / Visa and Flight Information	
ビザについて Visa	ビザの種類 / Visa Type：47a2
	ビザ申請先 / Location of Visa Application：OIL Diliman
	提出書類 / Required Documents：パスポート、必要費用
	手続きに要した日数 / Duration of Visa Application Process：約 3 か月
その他必要な事前手続き Other Required Procedures	かなり複雑です。ビザの取得は二段階になります。 47a2 という特別ビザ、あるいは SSP（Special study permit）という申請のどちらかを、大学の留学担当事務所を通して行うことになります。 47a2 は申請費用が安く抑えられますが、パスポートが半年留学の場合だと、直前まで手元に戻りません。一方、SSP はパスポートが早く手元に帰ってきますが、ビザではない為、2 か月ごとに観光ビザの更新が必要となります。

	47a2 と SSP のいずれを選ぶにしても申請期間に 2~3 か月要するため、出発前あるいは到着後に観光ビザの延長が求められます。 基本的には出発前に 9a 観光ビザ（59 日滞在可能ビザ）の取得が推奨されます。しかし、パスポートのみで入国し、到着後に大学近くのモールで観光ビザ延長の手続きを行うことも出来ます。費用は前者の方が安く済みます。 私は、9a 観光ビザで入国し、47a2 ビザを申請しました。 9a ビザの申請についてですが、大使館の対応がかなり雑であるためかなりの時間を要します。早めに申請されることをお勧めします。
出国年月日/ Date of Departure	2023 年 9 月 2 日 (YYYY/MM/DD)
経路（往路）/ Route (Outward)	那覇空港→桃園国際空港（台湾）→ニノイアキノ空港（マニラ）
現地での出迎え Pick-up Service	☒ 有/Yes（大学関係者/Univ. Staff ・ その他/Others） ☐ 無/No
到着後オリエンテーションの有無・期間・内容 Orientation, Period, Contents	☒ 有/Yes 有の場合 期間/Period : _____ - _____ (If Yes) 内容/ Indicate Content Covered during Orientation 大学施設についての説明、現地学生との交流、各機関利用においての説明、授業の説明等。 ☐ 無/No
帰国年月日 / Date of Return	2024 年 1 月 20 日 (YYYY/MM/DD)
経路（復路） / Route (Return)	ニノイアキノ空港→桃園国際空港→那覇空港

3. 留学費用について / Expenses

支出額 / Expenses	総額 Total Amount	約 60 万（内訳の合計ではなく、私が実際使ったと思われる総額です。）		円/yen
	内訳 Details			
		渡航費（往復）/ Flight Ticket (Round Trip)	70000	円/yen
		ビザ申請手数料/ Visa Application Charge	16600	円/yen
		予防接種費用 / Immunization Charge	0	円/yen
		保険料 / Travel Insurance	60000	円/yen
		教材費（授業料以外の学費） / Learning Material (Extra Tuition Fee)	0	円/yen
		宿舍費（住居費）/ Accommodation Fee	8000	円/yen
		光熱費 / Utility Cost	740	円/yen
		食費 / Meal Cost	24000	円/yen
		通信費（インターネット・携帯）/ Internet, Phone	0	円/yen
		交通費（宿舍～大学間） / Transportation (Accommodation ~ Univ, Campus)	30（片道）	円/yen
		交際費 / Social Expenses	10000	円/yen
		その他 / Others（ウォーターサーバー 費）（ 費） （ 費）	月 400	円/yen 円/yen 円/yen

4. 授業・修学について / Courses and Study

授業の概要について(カリキュラム, プログラム, 履修した科目, 時間数, 履修形態等) / Brief Description of Courses (Curriculum, Program, Registered Courses, Study Hours, Course Style)	MS 1: Ocean and Us MS 102: Marine Science Env Sci 1: Environment and Society Geol 1: Our Dynamic Earth Chem 16: General Chemistry
単位互換希望の有無 / Credit Transfer from Host to Home University	☒ 有/Yes ☐ 無/No
授業・勉強についてのアドバイス(留学前の履修, 留学中, 単位取得等) / Advice for Class and Study (Before and During Study Abroad)	一授業につき、だいたい3単位です。広大の授業と比較し、一つの授業がかなり重めです。1 セメスターにつき、留学生は最大 12 単位(4 授業)で抑えることを勧められます。 私は5 つ授業を取っていたので、留学生活のほとんどが勉強でした。語学力向上がメインである方、色々見て回りたい方は2~3 つほどに抑えることをお勧めします。 フィリピン大学の良い点は、開講している授業の種類が豊富である点です。悪い点はどの授業も Pre requirement という、専門授業の基礎科目の履修が求められるため、専門授業の履修が難しい点です。
日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦(ティーチングスタイル・先生と学生の関係性など) / Difficulties and Challenges Faced in Classes Different from Japan (Teaching Style, Relationship with Professors/Lecturers)	先生にもよりますが、多くの先生が学生の積極的な授業参加を求めます。専門に関係なく、グループワークやプレゼンテーションは非常に多いです。 フィリピン大学の授業の懸念点は、タガログ語を交えて授業されてしまう点です。私は授業オリエンテーション後、各先生方に「留学生だからタガログ語が分からない」と話しに行き、極力英語で授業してもらうようお願いしました。

5. 生活等について / Lifestyle

(1) 留学先の住居について / Accommodation

住居の種類 Type of Accommodation	☒ 大学の寮 / University Dormitory ☐ アパート / Apartment ☐ その他 / Others ()		
住居の広さ Size of the Room	約/approximately 10.9 m ²	同居人の有無 Roommate(s)?	☒ 有 / Yes (2 人/People) ☐ 無 / No
住居に附属する設備 Facilities in Accommodation	☐ 電気/ Electricity ☐ ガス/ Gas ☒ 水道/ Water ☐ 給湯/ Hot Water ☒ シャワー/ Shower ☐ 風呂/ Bathtub ☐ 水洗便所/ Flushable Toilet ☐ 暖房/ Heating ☐ 冷房/ Cooling ☐ 台所/ Kitchen ☐ 食堂/ Dining Room ☐ 固定電話/ Land-Line Phone ☒ インターネット/ Internet ☐ その他/ Others ()		
住居費 Accommodation Fee	1 ヶ月当たり/ per month	(現地通貨/ local currency)	約/ approximately 8000 円/yen
留学先での住居全般に関するアドバイス Accommodation Advice	・シャワーは水です ・トイレはトイレットペーパーが流せません ・空調はついていないので、扇風機の購入を視野に入れていて下さい。		

(2) 医療について / Medical Care

保険の加入先 Insurance (Who Designated)	☒ 本学指定の保険 / Hiroshima University ☐ 留学先大学指定の保険 / Host University ☐ その他 / Others ()		
保険の補償内容 Insurance Coverage	補償額 / Coverage	死亡 / Death	円 / yen,
	入院 1 日 / per day of Hospitalization		円 / yen
	その他 / Others ()		

留学前後での予防接種の必要の有無 Immunization Requirement	☐ 有 / Yes (種類 / Acquired Immunizations : , 医療機関名 / Location of Immunization :) ☒ 無 / No
留学先国の医療事情 (日本と比較して) Difference in Medical Service (Compared to Japan)	大学周辺には、あまり良い医療施設がありません。下宿先の隣に大学の医療センターがありますが、正直なところ対応が雑です。 保険が適用される病院が大学から車で 1 時間ほど離れたマカティという都市に集中しており、そこでは適切な治療を受けることが出来ます。
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと Healthcare and Hygiene	やはり衛生面が良くないので、ほとんどの人が半年の間に 2~3 度体調不良を経験します。防ぎようがないです。ピオフェルミン等、おなかの薬をしっかりと準備しましょう。 現地でも薬を手に入れることはできますが、薬によっては処方箋が必要です。日本から持っていける薬はすべて持っていくことをお勧めします。
(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと / Dangerous Situations and Locations Encountered, Possible Advice for Risk Management	
大学周辺で治安の悪さを感じたことはありません。私自身、スリにあたり、命の危険を感じることは一度もありませんでしたが、大学エリアを出てマニラ中心部まで行くと、治安は悪くなります。女性はもちろん、男性も夜間に一人で歩くとといった行動はしないようにしましょう。また、日本人のみで歩くと狙われやすいため、フィリピン人の友達と歩くと安心です。	
(4) 食生活についてのアドバイス / Food – Related Advice	
大学寮の近くに、Area 2 と呼ばれるフードストリートがあります。価格帯は日本円で 78 円から 260 円で食事をとることが出来ます。衛生状態は良いとは言えませんが、おなかを壊すのは最初のうちだけだと思うので大丈夫です。気になるようであれば、大学から徒歩 25 分程度の場所に大きなショッピングモールがあるので、そこで食事をとることも可能です。しかし、価格帯は Area 2 と比較するとかなり高くなります。(だいたい日本の外食費用と同じくらいです。)	
(5) 気候・服装についてのアドバイス / Advice on Local Climate and Clothing	
年中暑いので、半袖で過ごすことがほとんどです。しかし、授業の教室や映画館といった屋内施設は冷房が効いているので、羽織るものを 1~2 枚持っていくことをお勧めします。もし何か足りない服があれば近くのモールにユニクロや H&M があるので、そこで購入することもできます。	
(6) 学内外の施設・設備環境について (インターネット環境含む) / Available Resources (Library, Cafeteria, Campus Wi-Fi, etc.)	
図書館のラインナップはかなり充実していると思います。私は特に Marine Science に興味があり、Marine Science の授業棟附属の図書館で海洋学関係の本を借り、専門書に目を通すことができたのが良い環境だなと感じる点でした。寮のインターネット環境は、正直良くないです。部屋ではつながらない所もあるので、図書館等に移動して作業する人もいました。ただ、ポケット Wi-Fi 等を借りる必要はないと思います。	
(7) 現地学生や地域との交流について (どのような、機会・きっかけがありましたか?) / Communication with Local Students and People (Available Opportunities?)	
学生との交流は授業のグループ活動や、サークル等への参加を通して持つ事ができます。私の場合は、大学の日本文化サークルの人や、通っていたジムの人と交流を持つ事が多かったです。 フィリピン人は非常にフレンドリーなので、よく話しかけてくれます。日本文化が好きな人が多いので、他国比較して友達は作りやすいのではと思います。	
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと / Care and Attention regarding Customs and Manners	
海外全般ですが、政治や宗教に関する話は、日本人と比較して各々しっかりした価値観を持っています。フィリピンは敬虔なカトリック信者がほとんどなので、どのような話題が禁忌なのかある程度知っておくほうが良いと思います。	
(9) 日本から持っていくべきもの、持っていくべきでないもの / What Should You Bring? What Should You NOT Bring?	

市販薬、日用品はできるだけ持っていくといいです。現地でも日本の物は色々手に入りますが、だいたい倍の値段がかかります。大学近くのショッピングモールに DAISO があるので、到着後からでも生活環境を整える雑貨は簡単にそろえることが出来ます。

(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス / Other Useful Information and Advice about Life Abroad

日本食は近くのショッピングモールで食べることが出来ます。丸亀製麺や、やよい軒が入っているので、フードシックにならずに済むと思います。学生寮では自炊が出来ないので、調味料等持っていくのはあまりお勧めしません。レトルトのお味噌汁程度に済ませると良いと思います。

6. 帰国後の進路について / Your Career After Study Abroad

卒業予定年月 Expected Graduation Month and Year	2026 年 / year 3 月 / month (当初の卒業予定年月 / Expected Month and Year before Studying Abroad 2026 年 / year 3 月 / month)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由 Reason for Extension of Graduation Month and Year?	☐ 4年次に留学したため / Participation in HUSA during 4th Year ☐ 単位不足のため / Amount of Credits ☐ 新卒で卒業するため / In order to graduate as a "new" graduate ☐ その他 / Others (具体的に / Specific reason:)
現在の状況および今後の 予定・進路等 Current Situation, Plan and Career	3年に進級、4年で卒業
就職活動や留学前の単位 取得、教育実習等につい ての工夫 Pre-arrangement by yourself for your future job hunting, acquisition of credits of required courses and practicum, etc.	国際共創学科の学生は、留学前にできるだけ単位を取っておくと良いです。ほとんどフルで取っていても3年次以降授業が残っているため、多く残してしまうと卒業に影響が出やすくなります。(留学に限った話ではないですが。)

7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等 / Useful Books and Website for Study and Life Abroad

書籍、サイト名 Name of Book or Website	詳細 (出版社, URL 等) Details (Publisher, URL etc.)	コメント Comments

8. 後輩へのメッセージ / Message for Outgoing Students who Desire to Study Abroad

VISA や大学の提出書類等、若干杜撰で煩雑ですが、面白い国、大学だと思いました。フィリピンの東大と呼ばれる大学なので、学生の自主性や社会問題に対する意識はすごく高いです。私自身、大学生活を通してあらゆる面で感化されたので、良い経験になったのではないかと考えています。特に、開発経済系の分野に興味がある方には良い学習環境だと考えます。

ただ、語学留学という側面では、大学側が1 セメスターに受け入れる日本人の数が多いため、外国語で発話する機会が得づらいと思います。

色々考慮したうえで、ぜひ検討してみてください。

9. 自由記述（日本語・1,200 字程度） / Feedback (English about 600 words)

- 以下の点を踏まえ、記述して下さい。 / Please give your feedback including the following points:
 - ① 留学を終えての所感 / Please describe and evaluate your study abroad experience briefly.
 - ② 留学期間中、最も印象に残った体験・出来事 / What was the most impressive experience in your study abroad experience?
 - ③ 留学の成果、留学前と比較して成長した点 / What is your achievement through the study abroad experience?
 - ④ 今回の留学での経験や成果を今後どのように活かしたいか（将来のキャリアパスも含めて） / How do you want to make use of your study abroad experience in the future including your career?

- 写真を2～3枚程度、貼り付けてください（写真1枚当たりの容量は、500KB以下に縮小して下さい）。
Please add 2-3 photos (within 500 KB per photo).

- ① 留学を終えた感想を3つに分けてまとめると、以下になります。
 - 卒論あるいは将来の方向性に関して、授業や現地学生との交流を通して考えや選択肢の幅が広げることができ、良いきっかけとなった。
 - 発展途上国の貧富格差や、環境問題に対する取り組み方の先進国との違いを目の当たりにするなど、あらゆる問題を自分の肌で感じる事ができた。
 - 純粋に楽しかった。
- ② 印象に残っているのは、物乞いの子供たちによく声をかけられたことです。非常に胸が痛みました。また、現地学生の意識の高さです。学生は国の政治体制や社会問題、環境問題に対して自分事と捉えていて、私たち日本の大学生がどれだけ無関心で、その無関心さがいかに問題であるか感じました。彼ら自ら声を上げ、何かしら変えていこうとする姿には感化されました。学生に限らず、フィリピン人の多くの方が変化というものに柔軟で、新たなものを受け入れる免疫があることに驚きました。外国人に親切で、多様性に非常に寛容です。楽しかった思い出は、友達とセブ島に旅行しウミガメやイワシと泳いだ体験、Enchanted Kingdom という遊園地に行ったこと、世界三大夕焼けといわれるマニラ湾の夕焼けを見ながらの夕食をとったことです。比較的安くで色々な場所に旅行できるのが、フィリピンの良いところだと思います。
- ③ 留学中様々な授業やディスカッション、他大学の日本の学生や現地の学生との会話を通して、いかに自分自身が勉強不足であるかを、初期からかなり反省させられました。自分の専攻となる分野はもちろん、他分野に関しても広く学び、様々な視点を心得て自身の専門を極めることの大切さを知りました。広大にない授業や学習環境を通して広く学び、自分自身の興味関心や将来の方向性を明確にしていけることができたのは、大きな財産だと思っています。良い友達も沢山できました。
- ④ 直近で今回の留学を生かせる場所は、おそらく卒論の執筆だと思っています。まだ研究室も決まっていない段階なのでどの程度生かすことが出来るかはわかりませんが、何かしら関連する授業は受講していたので生かすことが出来るのではないのでしょうか。また、卒業直後ではなくとも大学院進学を視野に入れているので、そこで取り組んでみたいテーマというのはなんとなく考えました。また、フィリピンとはあまり関係ないですが、卒業後海外で暮らしたいという気持ちが確かになりました。それらを受け、今後就職活動を行う上で自分の大事にしたい軸が海外勤務であることに気づけたので、ある程度就活の軸を絞ることができました。

出国前、正直不安なことが多かったです。着いてからも、大学寮のシャワーが水しか出ないことやトイレにトイレットペーパーが流せないこと、冷房がついていないこと、やはり虫が多いこと。初めての集団生活。慣れないこともいくつかありました。しかし、なんとかあります。フィリピンはごはんも安くておいしく、人はみな親切でフレンドリーです。魅力の多く詰まった国である上に、留学費用は欧米、ヨーロッパ諸国と比較してかなり安くつきます。また、フィリピンの東大と呼ばれる場所で学ぶことが出来ることは、何かしらの一流を経験できるという貴重な機会だと思います。なんでも楽しんでやるというマインドさえあれば、多少環境が悪くとも何とかあります。ぜひ、検討してみてください。



注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSA ホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます（氏名及び学生番号については、非公開とします）。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、国際交流グループにて削除等させていただきますので予めご了承ください。 / This report and its contents will be uploaded on website of the HUSA and Hiroshima University, browsed at the office and used for information regarding study abroad at Hiroshima University in order to provide information to students who desire to study abroad. (Student name and student number are not published). If the report and its contents are included inadequate contents to be published, it would be deleted or amended it by International Exchange Group.